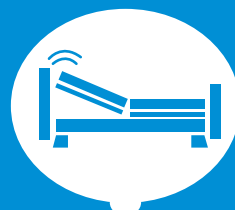


中古の介護用ベッドを 販売・購入される皆さまへ



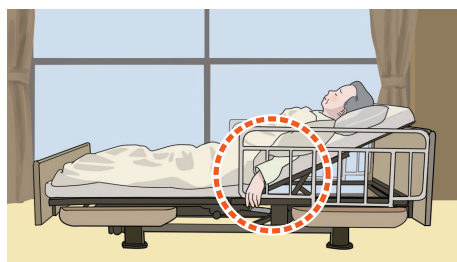
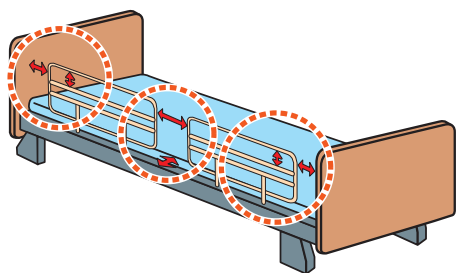
確認ポイント7つのお願い

介護ベッドは利用者の自立と、利用者と介助する人の介護環境を改善する便利な福祉用具です。
しかしながら**不適切な状態**や**間違った使い方**により**思わぬ事故**が起こる危険性があり、
特に中古の介護ベッドには販売する方と購入する方のお互いが注意すべきポイントがあります。

1

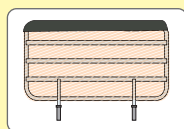
サイドレール等のまわりに危ないすき間がないか確認してください。
最新のベッドでもすき間はできますが、製造から長期間が経過したベッドおよびサイドレールの組み合わせでは、危ないすき間ができる可能性が高くなります。

- 介護ベッドまわりの事故の約8割は、サイドレール関連のすき間で発生しています。
すき間に身体の一部が挟まった場合に、自力で抜け出せないご利用者は特にご注意ください。

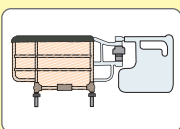


- ご利用者の頭や首などが挟まるようなすき間がある場合は、すき間をカバーなどで覆いましょう。

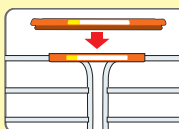
対策を
しましょう



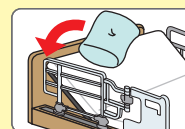
サイドレールカバー



ベッド用グリップカバー



スペーサー



クッションなど

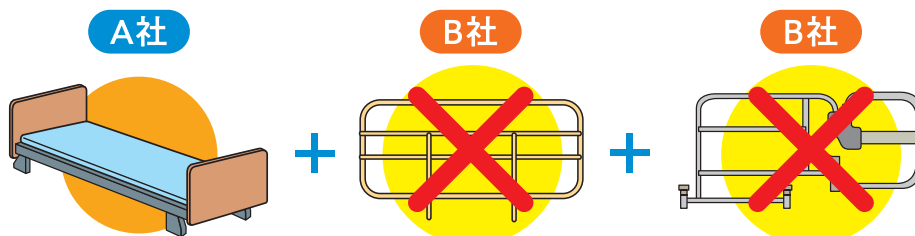
すき間については協議会のホームページの
「医療・介護ベッド安全点検チェック表」をご確認ください。

<http://www.bed-anzen.org/use/check.html>



2

必ず同じメーカーの、取扱説明書などに記載された適切な組み合わせで販売・購入してください。
誤った組み合わせで使用した場合、危ないすき間ができたり、ぐらついたりすることがあります。



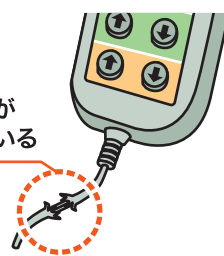
3

手元スイッチ（リモコン）のボタンやケーブルなどに破損や変形がないか、ベッドが問題なく動作するかを確認してから販売・購入してください。

ボタンが取れかかっている



ケーブルが破損している

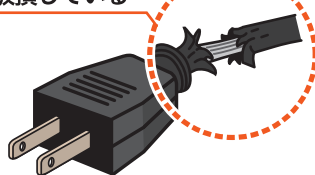


4

電源ケーブルや電源プラグなどに破損や変形がないか確認してから販売・購入してください。

破損したまま使用していると、火災や感電などの事故が発生するおそれがあります。異音や異臭などの異常を感じたときは使用を中止してください。

電源ケーブルが破損している



電源プラグが変形している



5

金属や木部、樹脂などの劣化や破損の有無、ボルト等の緩み、電動動作など、安全に関する確認を行ってから販売・購入してください。また、メーカーのリコールの対象となっていないか、不適切な改造が行われていないかも確認してください。

OK!



6

製造から長期間が経過した製品は、外観に異常がなくても経年劣化などで不具合が発生している場合があります。

製造年や耐用年数、メーカーに修理用の部品の有無などを確認してから販売・購入してください。



7

メーカーが作成した取扱説明書（コピーでも可）と一緒に販売・購入してください。



この案内に掲載されている **7つのポイント** を確認して、事故を未然に防ぎましょう。

医療・介護ベッド安全普及協議会

【ホームページ】<http://www.bed-anken.org>

【お問い合わせ先】03-3648-5510 平日:10時~17時(土・日・祝日、年末年始を除く)

ホームページでは、ベッドを正しく安全にご使用いただくための動画やパンフレットを掲載しています。

HPはコチラ



発行年月:2023年9月